

デジタル田園都市国家構想基本方針案のとりまとめに向けた意見

令和4年4月27日
広島県知事 湯崎英彦

- これまでの会議において、デジタル田園都市国家構想の実現に必要なこととして、
 - ・ デジタル実装のためには、失敗を許容し、投資を拡大すること
 - ・ 人材の確保について、東京一極集中を是正するとともに実践を通じた人材育成を行うこと
 - ・ デジタル基盤について、固定系・移動系のブロードバンド環境を全国津々浦々に確保することを提案してきたところである。

- 本日晒された骨子案においても、東京圏への一極集中の是正を図ることが明記されているほか、
 - ・ 「デジタル田園都市国家インフラ整備計画」の実行を通じたデジタル基盤整備の推進
 - ・ 地域の課題解決をけん引する「デジタル推進人材」に係る育成目標（2026年までに230万人育成）などが盛り込まれており、短い期間の中でのとりまとめに感謝する。

- 構想の実現には、デジタル技術を使いこなす人材の育成が鍵となることから、基本方針に「デジタル推進人材」の育成目標を明記することは重要であり、目標達成に向けた方策や「デジタル人材地域還流戦略パッケージ」を早期に具体化し、実行に移すことが必要である。

- 同時に、
 - ・ デジタル実装の実践を通じた人材育成も必要であることから、失敗の許容も含め、自治体がデジタル実装への挑戦を継続的に行っていくことを長期的に支援する仕組みや
 - ・ デジタル化が進展する中、変化に対応する能力形成が求められることから、企業や自治体におけるリスクリングの取組に対して継続的な支援について、基本方針に明記していただきたい。

- さらに、デジタル実装の推進を支える取組として、「デジタル基盤の整備」、「デジタル人材の育成・確保」、「誰一人取り残されないための取組」に加えて、次の2点を柱として基本方針に追加してはどうか。
 - ・ 今後、あらゆる産業のあらゆる分野でデジタル化が進展していくことを見据え、労働者がデジタル化する仕事に対応する力を習得し、新たに活躍できる成長分野に円滑に移動していけることも重要であることから、円滑な労働移動の仕組みを構築すること
 - ・ 今後、デジタルを活用した新産業の創出や地域課題の解決には、スタートアップ企業の活躍も期待されることから、スタートアップ・エコシステムを確立すること

以上